

創業から四五年

株式会社北四国グラビア印刷

代表取締役社長 奥田 拓己

一、はじめに

当社は一九七〇年、私の父・奥田正幸（観一 4回・昭和28年卒）が三十五歳の時、観音寺市八幡町で創業しました。創業当時は蒲鉾などの水産加工品、お土産物、乾麺、野菜などの地場の産品の包装材料を製造していました。その後、急成長する冷凍食品・紙加工産業にも仕事の範囲を広げ、今年二〇一五年五月一日、創業四十五周年を迎えることができました。

グラビア印刷は、凹版印刷の一種であり、微細な濃淡が表現できるので写真画像の印刷や、軟包装材料（フィルム）への印刷に適しています。雑誌でよく見かける「グラビア」というページは、「芸術印刷」といえば「グラビア」だっ

た時代の名残であり、現在はほとんどがオフセット輪転で印刷されています。

話は変わりますが、社名に「北四国」という名称が付いているのは、野球好きの父が名づけました。理由は、一九七五年まで夏の高校野球の全国大会予選として、香川県の勝者と愛媛県の勝者が対戦する北四国大会が開催されており、今以上に一般的に馴染の深かったこの呼び名から取ったものと聞いています。

私は、京都の大学を卒業後、大手インキ製造会社で三年間の修業を終え一九九〇年に入社しました。当時の工場は二〇年前に建てられた古く小さな工場であったため、私はすぐに父に新工場建設を進言しました。約一年をかけて建設用地の選定、国内各地の先端の工場・機械の見学に飛び回ったのも、今となっては懐かしい思い出です。そして一九九二年（平成四年）無事念願の新工場が観音寺市粟井町、母神山中腹に完成しました。

二、会社の改革

お客様や、時代の追い風にもつて会社は順調に売上げを伸ばすことができました。しかし、二〇〇〇年、従業員数が五〇名を超えたあたりから、ただ黙々と目の前の仕事をこなす毎日に違和感をおぼえはじめました。そこで、会社の存在目的と従業員の働きがいを満たすために、「経営理念」「中期経営計画」「人事制度」などを制定し、会社の改革に着手しました。並行して、人材育成、設備投資、環境整備、小集団活動などの取組みも開始しました。

個人的にはもつと経営者としての勉強の必要を感じ、二〇〇四年に盛和塾香川（※）に入塾し、先輩経営者から経営の基礎を学びました。そして、二年後の二〇〇六年、父の後を継いで社長に就任しました。しかしその翌年からは色んな良くない出来事が続き、まさに試練の年がつづきました。盛和塾には、「もうダメだ」という時が仕事の始まり」という教えがあります。この教えを実践し

ようと、従業員とともに、今こそ「お客様第一主義の徹底」を掲げ、仕事にまい進しました。具体的には品質、価格、サービスに対し目標を掲げ、その目標を達成するための徹底度とスピードを上げてゆきました。

（※）京セラ創業者の稲盛和夫氏が主宰する中小経営者が集う私塾

三、回り出した好循環

徹底した環境整備を続けた結果、大手食品会社様の工場監査では、数ある納入業者の中で最高点数をいただけるレベルに達しました。また、盛和塾の教えでもある「売り上げを最大に、経費を最小に」「値決めは経営」の言葉を愚直に実践してきた結果、不況業種といわれる印刷業の中で利益率も改善することができました。

会社内では、全従業員が営業マンとしての気持ちを持つため「全員営業」という言葉がよく使われます。お客様と接する営業部署だけでなく、製造や管理部門のメン

バーもお客様第一のスローガンを実践するために、心を込めた挨拶をし、また心を込めたモノづくりや応対をしてきています。その一方で、全従業員で真心とプライドをもって製品を創ろうという意識をあらわす「全員製造」と言葉も生まれました。これにより営業活動や製造活動における利他の心、日々の採算意識への感度が目に見えてあげることができました。

これらの活動の成果が認められ、二〇一三年には経済産業省が主宰する「おもてなし経営企業選」全国の五〇社に選出されました。また、昨年は約四五〇〇名が集う「盛和塾 第二二回世界大会」の場において経営体験発表の機会をいただくことができました。

四、創業五〇周年に向けて

この記事を書いている最中の六月五日、創業者である父が急逝しました。あと五年にせまった創業五〇周年を控え、父も非常に無念だったと思います。今から五年ほ

ど前に、父に創業当時の志や、当時の時代背景を教えて欲しいとお願いしたことがあります。父は当時を思い出しながら「創業の精神」を書き記してくれました(当社ホームページに掲載しています)。また当社の経営理念の最上位概念として社是の「人生在勤」という言葉があります。

今、私たちは父の意思を受け継ぎ、この「創業の精神」「経営理念」をもって、それぞれの職場を修業の場、魂を磨く場と考え、会社全体を「人生在勤道」に励む道場であると位置づけています。従業員が一〇〇名を超えた今、多くの観音寺一高出身者が働いてくれています。従業員のほとんどを観音寺市・三豊市出身者が占めます。

今は、二〇二〇年に迎える創業五〇周年をめざし、「お客様・お取引先様のため」「会社の成長のため」「従業員の幸せのため」のすべてを実現する『グラフィアーズハッピースパイラル』の完成をめざし努力を積み重ねています。この幸せの善の循環が高速でぐるぐる回るよう強く

グラビアーズ HAPPY スパイラル



おもてなし経営



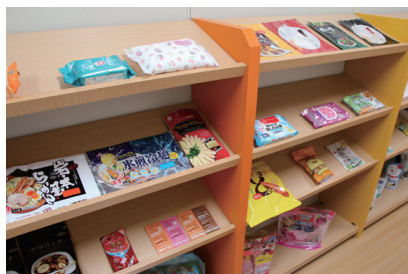
創業 45 周年を祝う平成 27 年 5 月 1 日



会社全景 空撮



啓蒙ポスター



製品

て良い会社を創りあげなければならぬと思っています。
この実現こそが、父に対する親孝行であり、お世話にな
った母校や地域への恩返しであると思っています。

観一・33回(昭和57年卒)

千七六八—〇〇五二 香川県観音寺市栗井町七五五

株式会社北四国グラビア印刷



全社員からの盛和塾世界大会への慰労



事務所風景



稲盛塾長と奥田拓己（左）



研修風景



部活動（ソフトボール）



株式会社北四国グラビア印刷 2015年社員旅行 宮古島・ホテルブリーズベイマリーナにて 琉球國祭り太鼓 宮古支部のみなさんと (2015.6.12)

2015年社員旅行 宮古島
琉球國祭り太鼓 宮古支部のみなさんと
ホテルブリーズベイマリーナにて
2015年6月12日